

実験概要

屋外スピーカーの音達範囲向上等に関する実証実験 概要

検討会第1回でのご指摘を踏まえて、実験内容の改善を実施

主な改善点

①無響室実験

(1) 暗騒音スピーカーで波の音を再現し、海岸線を擬似的に再現

②音声放送実験

- (1) 複数社のスピーカーを用いて比較評価を実施
- (2) 山間部、山間住宅地において、反響の影響を評価
- (3) 市街地では、松田町の施設を活用した屋内測定を実施
- (4) 1つの測定点でスピーカー2機による放送を行い、干渉の影響を評価
- (5) 事前に放送文言を聴取者に周知し、改善施策の有無毎の評価を実施
- (6) 子局と拡声アンプは、市場実績があり信頼性の高い組み合わせを採用

<松田町からのご協力に当たってのご要望事項>

- (1) 災害発生時等においては実証実験を中止・再調整
- (2) 放送文言はなるべく短縮、サイレン鳴動は5秒以内
- (3) 1地点での合計放送時間は10分以内

※検討会第1回における以下のご指摘については、本実験での対応が困難であるため、報告書作成の際に机上検討、又は今後の検討課題とします。

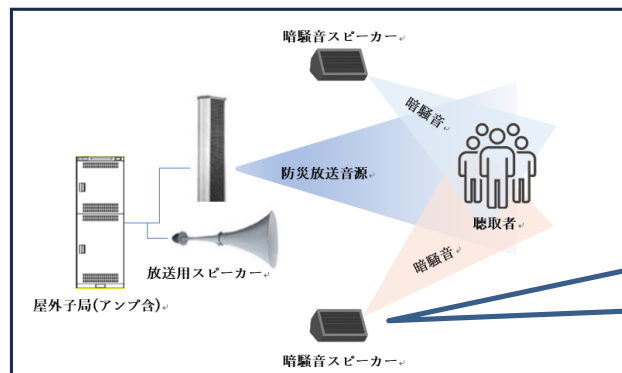
- (1) 風の影響
- (2) 話速の影響、無意味語・有意味語の差
- (3) 隣り合うスピーカー同士の干渉
- (4) モーターサイレンの特性評価 等

屋外スピーカーの音達範囲向上等に関する実証実験 概要

検討会第1回でのご指摘を踏まえ、以下の実証実験を行う。

①無響室実験：10月予定

- (1) 豪雨音、波の音を疑似的に再現した環境下における、聴取者が聞き取りやすい方策の検討
- (2) 音達バルーンへの影響について机上計算



②音声放送実験 (1) 11月予定、(2) 12月予定

場所：神奈川県足柄上郡松田町
放送スピーカー3箇所（市街地、山間部、山間住宅地）

(1) 試験音放送&SII測定実験

試験音（Swept-Sine）による音場測定を行い、SIIを算出、様々な改善施策※を検討
※特定周波数帯の強調等

(2) 聴感評価実験

(1) の検討結果を基に、様々な改善施策の有無別に放送を行い、聴感評価を実施

放送文言は事前周知した上で実施



- ・市街地で屋内測定を実施
- ・山間部での実験により、反響の影響を評価
- ・山間住宅地スピーカーを2機用いて、干渉の影響を評価

